

「羽島郡笠松地域行政×デジタル連携協議会（仮称）」について

分野	行政
地域課題を抱える地域	笠松町全域
地域課題名	住民に寄り添った行政窓口の開設
地域課題の具体的な内容	<p>様々な分野でデジタルを活用したサービスが提供される中、高齢者などデジタルに不慣れな方も含め、町民や町を訪れる方など誰にとっても使いやすい住民に寄り添った行政窓口の開設が課題となっている。笠松町では新型コロナワクチンの接種予約を公式 LINE を経由して行った背景から、他自治体と比較して公式 LINE アカウントの登録者割合は多いものの、重要度の高い情報から低い情報まで、全ての情報を同条件下で配信しているため、利用者に対し公式 LINE 登録のメリットを十分に享受できているとは言い難い状況である。</p> <p>また、各部署に置いて様々なシステム（書かない窓口・オンライン申請・バスロケ・施設予約など）が導入済み、もしくは導入を検討している状況であるが、個々に独立している状態であり、住民サービス向上のためには、これらを集約して住民の方に分かりやすい入口を提供することが望ましい。</p> <p>笠松町では令和6年度から DX を推進する部署が新設され、より一層の住民サービス向上を目指すため、実際に役場を訪れる様々な方の意見も聞きながら上記課題を解決していく必要がある。</p>
地域課題について、その解決の必要性	<p>数多くある行政サービスを集約した1つの入口を作り、かつ、ほとんどの住民が保有するスマホから申請等ができるようにすることで、役場に行かなくても手元にあるスマホで全てを完結でき、大幅に住民の負担が軽減される。また、高齢者などデジタルに不慣れな方も使いやすい、UI に優れた窓口（入口）も求められている。</p>
連携して取り組むと効果的な近隣市町村	特になし
地域課題の解決により見込まれる成果や将来像	<p>高齢者から若者など住民に加え、町を訪れる方も含めた満足度向上、各個別システムの利用率増加に加え、公式 LINE 登録者の増加により災害時などの適切な情報共有などの効果が見込まれる。将来像としては、誰もが行政サービスを気軽に享受できる町を目指す。</p>